

21世紀COE「京都大学化学連携研究教育拠点」外国人講演会 開催報告書

(理学研究科) 林 民生

研究集会名：理学研究科化学専攻 有機化学セミナー

演者：Dr. Jean-Pierre Djukic (Université Louis Pasteur, Strasbourg, France)

演題：C,N Heterochelates of d-Block Transition Metals as Synthons for Molecular Engineering

場所：京都大学大学院理学研究科化学専攻 理学部2号館第2講義室

日程：2005年2月10日 16:00-18:00

総参加者概数：約30名

講演内容：

Jean-Pierre Djukic 博士は、遷移金属錯体を中心とした、高度に制御された構造を有する化合物の新しい合成的手法の開発などに焦点をあてて研究を行っている現在活躍中の若手研究者である。今回は、2-フェニルピリジンを主な骨格に用いた〔炭素、窒素〕の2座配位メタラサイクル化合物を起点として、マンガンやパラジウムを中心金属とした立体的に特異な性質（螺旋構造や面不斉など）を持つ化合物群の新たな合成法の確立についての講演を行った。カルベンの金属-炭素結合への挿入反応や、塩化水銀を用いた2-フェニルピリジン類の立体選択的なオルト位マーキュレーションなどを駆使することで、有機金属化合物の分子構築が効率良く行えることを示した。

